

## 【Press Release】

報道関係者各位

2026年2月16日  
Nothing Technology Japan株式会社

# Nothing、インド初の直営店 「Nothing Store Bengaluru」をオープン

ロンドンを拠点とするコンシューマー・テクノロジー・ブランド[Nothing](#)は2月14日に、「Nothing Store Bengaluru」をオープンしました。オープン当日は、2,000人を超える来場者が新たなリテールスペースを体験するため行列を作りました。

自己表現、共創、そして遊び心をテーマに設計された新たなストアは、Nothingの革新的なデザイン哲学を体現するとともに、地域コミュニティのために構築された空間です。



素材は[こちら](#)よりダウンロードいただけます。

2フロア総面積約467m<sup>2</sup>のストアは、1970年代の工場の生産ラインやワークショップから発想を得ています。Nothingのデザインアイデンティティを、参加型でアクティブな空間へと進化させました。

ストアの中心に据えられているのは「自己表現」です。ベンガルールストアは、世界で唯一、Nothing製品をカスタマイズできます。また、専用のスタジオスペースを設け、クリエイターによる開封動画や製品を使用したコンテンツ制作も可能です。

## 【Press Release】

報道関係者各位

2026年2月16日  
Nothing Technology Japan株式会社

ベンガルールストアには、コミュニティが交流できるゾーンも併設。自動販売機、クレーンゲーム、そしてコンベアベルトのディスプレイといった遊び心のある要素が、非日常的な瞬間を演出します。

本ストアは、コミュニティのハブとして機能することを目指し、ストア内にはコーヒーショップや座席スペース、ワークショップやカルチャープログラムを開催できるエリアを備えています。今後は、地域のクリエイターとのコラボレーションやミートアップも開催予定で、彼らの声などを反映し続ける場となります。NothingおよびCMFの製品に加え、Nothingブランドのマーチャンダイズも販売されます。

インドのイノベーション・ハブであるベンガルールは、既成概念にとらわれない姿勢でインドのテックシーンを作ってきた新世代が集う都市です。アーリーアダプター、クリエイターやカルチャーが交差し、自分らしさを映し出す、新しい体験を求めています。

創造的なエネルギーと並木通りで有名なインディラナガール地区は、長年にわたりカルチャーとライフスタイルの中心にありました。インド初のNothing直営店の場所として最適な場所でした。ストア空間は、インディラナガールのエネルギーと、そこを行き交う人々をイメージして造られ、地域のクリエイターによる期間限定のインスタレーションも展開されます。

Nothing最初のロンドンソーホーストア、そして今回のベンガルールストアに続き、Nothingは今後も直営店の展開を拡大していきます。東京とニューヨークへの出店も予定しており、遊び心、創造性、そして地域文化を軸とした空間づくりをさらに広げていきます。

### ■ Nothing Store Bengaluru

オープン日 : 2026年2月14日 12:00 PM IST

住所 : 660/1, 100 Feet Road, 1st Stage, Indiranagar, Bengaluru, Karnataka 560038 India

営業時間 : 毎日 10:00 AM – 9:00 PM

### Nothingについて

Nothingはロンドンを拠点とするコンシューマー・テクノロジー企業です。現状に疑問を持ち、既成概念に挑戦したいと考える世代のために、テクノロジーをつくっています。私たちのミッションは、テクノロジーを再び楽しいものにすること。そして、ルックも、サウンドも、体験もほかとは違う受賞歴のあるプロダクトを通じて、自己表現を後押しすることです。革新的なクリエイティビティを原動力に、Nothingは現在、世界で最も成長しているスマートフォンおよびコンシューマーオーディオブランドであり、過去10年で唯一の成長し続けている新しいスマートフォンブランドです。11,000人のコミュニティ投資家と、世界有数の投資家からの4億5,000万ドル超の資金調達に支えられ、Nothingは文

**【Press Release】**

報道関係者各位

2026年2月16日  
Nothing Technology Japan株式会社

化、創造性、そしてコミュニティによって形づくられる次世代のパーソナルテクノロジーを再定義しています。